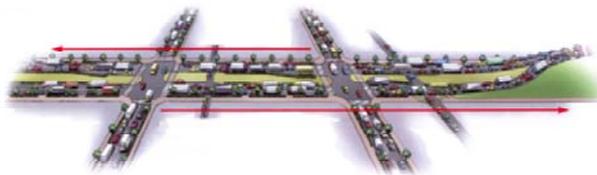


【沿道環境(大気質・騒音)の改善】

・沿道環境(大気質)の改善を図るために、交差点立体化、交差点改良等のボトルネック対策によって、円滑な道路交通を確保。

<大気質対策例:ボトルネック対策(交差点の立体化)>

整備前

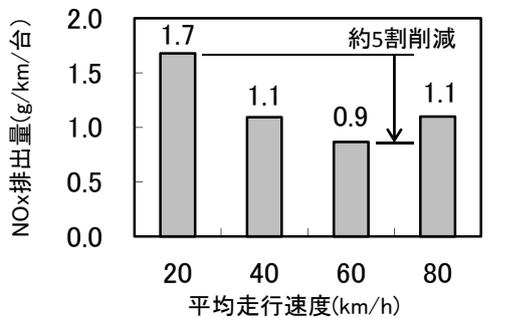


交差点を先頭に渋滞

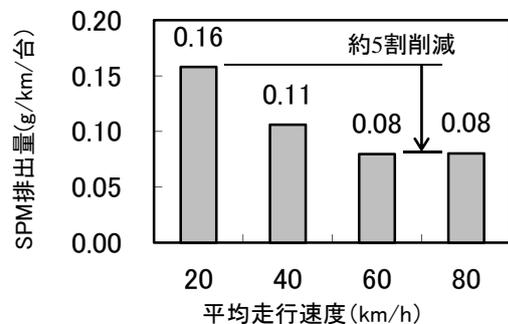
整備後



走行速度の向上によりNOx,SPMの排出量が低減



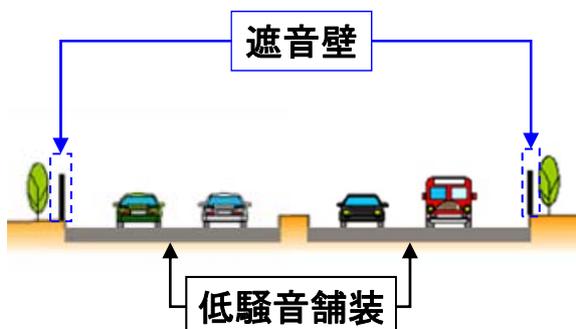
<NOx排出量と平均速度の関係>



<SPM排出量と平均速度の関係>

・沿道環境(騒音)の改善を図るために、遮音壁の設置、低騒音舗装の敷設により騒音を低減。

<騒音対策例:遮音壁、低騒音舗装>



対策メニュー	内容	低減量
低騒音舗装	主にタイヤ発生音が低減される	約3dB程度
遮音壁	音の遮蔽による減衰	約10dB程度